

STRUM シュトゥルム

第 35 号 平成 29 年 3 月 31 日発行

桜も満開に近づき、暖かさとともに街を行き交う人が多くなってきました。皆さん今年のお花見はどちらに行かれますか？伊都さんの地元、根岸森林公園もお花見の名所、きっと故郷の春を満喫していることでしょう。これから、気軽に生音を堪能できるライブハウスコンサートなどが続きます。良い季節に誘われて、ぜひお出かけください！

近況報告

先日のロンドンアタック（テロ）はちょうどベルギーのテロから一年目、テロが起こるたびに、その国に住む友人の Facebook 安否確認知らせを見ることが普通となったそのことに世情の不穏さを感じつつ、それでもイギリスの EU 離脱反対デモは 8 万人を超え、あるいは EU 内の優遇制度が消滅することを見越しての、EU 国籍のイギリス離れが始まったために、2 つのイギリス王立音楽大の日本人学生数は今までで最高数とのこと（今までは日本並みの音大の学費の高さだったこともあり日本人の学生は少数だった）様々なことが今後どうなっていくのかますますわからない状況はしばらく続くようです。

ユダヤ人の友人が編さんに関わった、ホロコーストを生き抜いたヴァイオリンと演奏者たちを描いた本「Violin of Hope (日本語題:希望のヴァイオリン)」の中で、ヴァイオリンが弾けたことによって自分と家族の命を繋いだ演奏者たち（プロアマ問わず）の話を讀んだり（逆に演奏できることによって大変な思いをした演奏家も多くいるようです）、ヴァイオリンを弾いていると話すと、それならどんな場所でもどんな状況でも生きていけるね！と反応されたり、音楽、特にクラシック音楽の持つ普遍性がフォーカスされ、求められることがこれから多くなるかもしれない・・・と期待しつつ、図書館、画廊、カフェ、東京のライブハウス等、日本でも少しずつ、様々な場所で演奏する機会が増えていることに感謝と嬉しさを感じています。

【伊都】



楽器修理人アムノンの元には、ホロコーストをくぐり抜けた多くの楽器が持ち込まれた。音楽を力に生き延びた有名無名の持ち主の物語。

ジェイムズ・A・グライズ著
白水社

Yokohama Airegin



Ito=Solo Vol.2 横浜エアジンライブ

1 月 28 日、横浜馬車道のライブハウス「横浜エアジン」で昨年 6 月に続き二回目のライブが行われました。桐朋の先輩でもある、バッハが好きなマスターのアイデアで、ランダムに貼った白い画用紙と布に映像が映し出される、という演出が雰囲気盛り上げました。以下、「」は伊都さんの報告メールからの引用です。

「今回は、新年一回目のソロパフォーマンスということで、ヴァイオリンという楽器で色々な音が出て色々な表現ができるということを表したい！というのがコンセプトでした。クラシックの王道、バッハのヴァイオリンソロソナタ第 1 番から始めて、白黒動画映像つきのドビュッシー：月の光、タンゴ、アイリッシュが 1st ステージ。2nd ステージでは、現代曲のイザイの無伴奏ソナタ 5 番の後、ソロのみ！と銘打ったのにもかかわらず、しばらく弾いていなくてすごく弾きたくなくなってしまった「揚げヒバリ」を、新年一本目だし、弾きたいものを弾こう！とピアノの近藤紗織さんに手伝ってもらい演奏しました。そのあとジプシーのヒバリ（昨年リサイタルのアンコールの曲）に続き、ジプシーの曲を 3 曲、最後はチャルダッシュで閉めました。」

お客様との距離がとても近く、アットホームな温かみのあるエアジン、迫力のライブが楽しめたことでしょう。

都築図書館ライブラリーナイト



都筑区総合庁舎にある都築図書館は、面白いイベントを企画することで文部科学大臣賞を受賞したこともある図書館だそうです。そこで3月20日、春の本をテーマにした伊都さんのコンサートが行われました。

伊都さんによると「コンサートでは、イギリスとウィーンにちなんだ春の詩と音楽、私の大好きな工藤直子さんの詩集『のはらうた』に合わせた音楽、そして秘密の花園のストーリーと音楽という、コンサート全編、スクリーンに詩や言葉を映してパフォーマンスするという私も初めての試みで、動画を作るのが大変だったのですが(また図書館は行政なので著作権の問題等あり、私が原作からすべての訳を行ったり)、とても好評で、特に春が来るとともに様々な奇跡が起こる、児童文学の名作「秘密の花園」の物語に私が独断で、いろいろなヴァイオリンの名曲から抜粋でメロディーをつけるというのは、世界でたった一つのパフォーマンスだった・・・ということもあり、たくさんの反響をもらいました。」

なんだかとても楽しそう！今までにない試み、見られた人はラッキーでしたね。



Ito Kanoh "Spring has come" Live

4月28日(金)

Start 19:30 ~ 3 Stages (Door open 18:00) Piano 高宮葉月

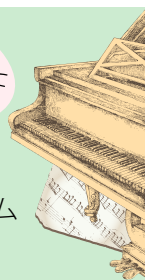
BarBarBar

横浜市中区相生町1-25
若葉運輸ビル1・2F

Music Charge: 3800円(要予約)

予約: BarBarBar ホームページ予約受付フォーム
問い合わせ: 045-662-0493

高校時代の同級生と
久しぶりの共演!



この他にも、画廊、美術館、六本木ライブハウス、カフェなどでコンサートを予定しています。詳細はメールマガジン、ホームページでお知らせします。

メールマガジンのご登録はこちらから http://itokanoh.com/form_mm/mm.html



DVD Classic Collection

作品 No.28 「シャイン」

1995年 オーストラリア 実在のピアニストの悲しみと喜びの半生



あらすじ

1947年、メルボルンの貧しいユダヤ系移民の子として生まれたデヴィッド・ヘルフゴットは厳しい父からピアノを教えられ神童ぶりを発揮した。コンクールで勝ち得たアメリカ留学は家族第一主義の父が許さなかったが、再び掴んだ英国王立音楽院留学のチャンスに、父に勘当されても英国へと旅立った。父と子の夢だったラフマニノフの難曲に必死にチャレンジしたデヴィッドは…。

見どころ

厳格な父との確執に苦しみ、精神を病んでしまうデヴィッドだが、とあるバーで弾いた「くまの飛翔」(伊都さんも超絶技巧を披露しますね)が絶賛され、再び演奏家として花開く。主演のジェフリー・ラッシュの演技は素晴らしく、アカデミー主演男優賞を獲得した。吹き替えは全てデヴィッド本人の演奏。ラフマニノフ: ピアノ協奏曲第3番の迫力と技巧に圧倒される。

感想

病む前の苦しみと、病んで花開き子どものように自由な自分の世界に生きる人になった、その落差。人生って? 幸せって? と考えさせられる。YouTubeでご本人の演奏を聴いた。オーケストラとの競演では、ジャズピアニストのように何か歌いながら、吹きながらの楽しそうな演奏に団員も苦笑している。父とはうまくいかなかったが、この人にはいつも良い助け手が現れ、伴侶にも恵まれる。英国王立音楽院は伊都さんにも所縁のある場所。そんなシーンも楽しめる。

*DVDはTSUTAYAの店舗でレンタル可能な作品のみをご紹介します

編集後記 しばらくで無沙汰している親睦会、食事会だけではなくやはり伊都さんの演奏も楽しめる会に…と思い、山手234番館(TRAUBEN 発足の2008年、翌2009年に親睦会とミニコンサートを行った所)に聞いたところ、音を出すのはNGになったとのこと。/他に、演奏がOKでお茶会もできるスペースを探しても、雰囲気良くて料金もリーズナブルで…となるとなかなか見つかりません。/伊都さんの話に聞くヨーロッパのように、街のあちこちで良い音楽が流れるような環境など、日本ではまだまだ望めないようです。/だからこそ、ライブハウスだけではなく図書館、美術館、カフェと身近な場所でのコンサートにチャレンジする伊都さんを大いに応援したくなります。ヨーロッパに長年暮らした伊都さんだからできる楽しい活動が、これからもどんどん広がっていくといいですね。〈ゆ〉

発行: 加納伊都後援会 TRAUBEN
〒231-0835 横浜市中区根岸加曽台15
TEL: 045-622-6780
FAX: 045-621-6423
Email: trauben@itokanoh.com
Homepage: itokanoh.com